

ムコスタ点眼液 UD2%

【この薬は？】

販売名	ムコスタ点眼液 UD2% Mucosta ophthalmic suspension UD2%
一般名	レバミピド Rebamipide
含有量 (1mL 中)	20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ドライアイ治療剤と呼ばれる点眼剤です。
- ・この薬は、結膜・角膜のムチン（粘液）産生促進作用と、角膜・結膜の上皮の障害を改善する作用があります。
- ・次の病気の人に処方されます。

ドライアイ

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にムコスタ点眼液 UD2%に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

【この薬の使い方は？】

この薬は点眼剤です。

●使用量および回数

通常、1回1滴、1日4回点眼します。

●どのように使用するか？

- ・この薬は懸濁液のため、薬剤が点眼容器に沈殿していることがあります。使用の際には、薬剤を分散させるために、点眼容器の下の部分を持ち、丸くふくらんだ部分をしっかりとはじいてください。
- ・点眼するときは、容器の先端が直接目に触れないように注意してください。
- ・点眼後はまぶたを閉じて、1～5分間、目頭を押さえてから目を開けて下さい。
- ・点眼後に、目の周りにあふれた液は、清潔なガーゼやティッシュなどで拭き取ってください。
- ・この薬は保存剤を使用していない使い切り製剤ですので、使用直前に開封し、点眼後に残った薬は廃棄してください。
- ・他の目薬も使う場合は、前の目薬を点眼してから5分以上間隔をあけてください。
- ・巻末の使用説明書の「ムコスタ点眼液 UD2%をご使用前に必ずお読みください」をよく読んで使用してください。

●使用し忘れた時の対応

- ・1回に2回分点眼しないでください。
- ・気付いたときにできるだけ早く1回分（1滴）を点眼してください。ただし、次に点眼する時間が近い場合は点眼せずに、次の通常の点眼時間から1回1滴を点眼してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・目の表面、涙道などにこの薬の成分が凝集することがあるため、涙がこぼれ続ける、目やにが増える、目や鼻の奥に違和感がある、目頭周辺が赤く腫れる、目頭周辺が痛むなどの症状があらわれることがあります。この薬を使用する場合には、これらの症状について、医師または薬剤師から十分に説明を受けてください。また、上記の症状や異常を感じたときは、眼科の医師に相談してください。
- ・点眼後、一時的に目がかすむことがありますので、機械の操作や自動車などの運転は注意して下さい。
- ・この薬に含まれているレバミピドは、ソフトコンタクトレンズに吸着することがあるので、目に違和感を感じたときは眼科の医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
涙道閉塞 るいどうへいそく	涙がこぼれ続ける、目やにが増える、目に違和感がある
涙嚢炎 るいのうえん	涙がこぼれ続ける、目やにが増える、目に違和感がある、目頭周辺が赤く腫れる、目頭周辺が痛む

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
眼	涙がこぼれ続ける、目やにが増える、目に違和感がある、目頭周辺が赤く腫れる、目頭周辺が痛む

【この薬の形は？】



【この薬に含まれているのは？】

有効成分	レバミピド
添加剤	ポリビニルアルコール（部分けん化物）、クエン酸ナトリウム水和物、塩化ナトリウム [等張化剤]、塩化カリウム [等張化剤]、塩酸 [pH調整剤]、水酸化ナトリウム [pH調整剤]、精製水

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・添付の遮光袋に入れて保管してください。

- ・薬剤が分散しにくくなりますので、点眼口を下向きにして保管しないでください。
- ・直射日光を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 大塚製薬株式会社 (<https://www.otsuka.co.jp>)
医薬情報センター
電話番号：0120-922-833
受付時間：月～金 9：00～17：00
（土、日、祝日、休業日を除く）

〔ムコスタ点眼液 UD2%の使用説明書〕

患者さんへ ムコスタ点眼液UD2%を
ご使用前に必ずお読みください

ご使用にあたっては医師または薬剤師の指示に従ってください。

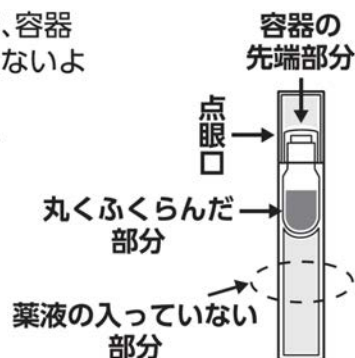
- 使用直前に開封し、点眼後はお薬が残っていても必ず捨ててください。
- 容器の材質上、ゆっくり切り離した際、点眼口の先端が糸状にのびることがあります。その際は、のびた先端が目に触れないよう注意してください。
- 点眼後は、目を閉じて、目がしらを1～5分軽く押さえてから、目を開けてください。
- 点眼後、一時的に目がかすむことがあります。しばらくすると元に戻ります。
- 目のまわりについた液はふき取ってください。
- ほかの点眼液と併用する場合は、少なくとも5分以上間隔をあけて点眼してください。
- ソフトコンタクトレンズに吸着することがあります。また、目の表面や鼻の奥等に薬の成分が白い粒となってあらわれることがあります。この薬を使って目や鼻の奥に異物感などの違和感を感じたときは、眼科医に相談してください。
- 点眼以外の目的で使用しないでください。

－ 裏面もお読みください －

ムコスタ点眼液 UD2%

<ご使用方法>

- ① 1回分(1本)の容器を切り離してください。
- ② 白いお薬が沈殿していても、品質には問題ありません。お薬を均一に分散させてから点眼してください。(容器の下部を持ち丸く膨らんだ部分をしっかりとはじくとお薬が均一に分散します。)
- ③ 容器を開けるときは、図に示した薬液の入っていない部分を持ち、容器の先端部分を無理にひっぱらずに、ねじ切ってください。
- ④ 目を傷つけるおそれがあるので、容器の先端が目やまぶたなどに触れないように点眼してください。
- ⑤ 遮光のため必ず投薬袋に入れて室温で保管してください。
- ⑥ 薬剤が分散しにくくなりますので、点眼口を下向きにして保管しないでください。



－ 表面もお読みください －

AD94A2Sa04